

ふう けい き こう
風景紀行
 かき ぞれ
柿其溪谷
 32
 木曾森林管理署・南木曾支署
 (各署の景勝地等を紹介)

柿其溪谷

「南木曾署」長野県南木曾町の国道一九号線から木曾川に架かる柿其橋を渡り、国の重要文化財に指定されている柿其水路橋をくぐると、木曾川支流の柿其川の透きとおった流れが見えてきます。この上流一帯は、柿其溪谷と呼ばれ、木曾谷に数ある溪谷の中でも、特に美しいといわれる柿其溪谷です。

流域では、約八キロにわたって滝や瀬・淵が点在し、周囲の岸壁や、二〇〇年を優に超える木曾ヒノキなどの天然林とともに、壮大な自然の造形美を作り出しています。このため、春から秋にかけて多くの人々が訪れ、春のツツジや秋の紅葉など、清冽な流れとともに楽しんでいきます。

なかでも、豪快な天然の流水プール「黒淵」、巨大な花崗岩が壮



豪快な天然の流水プールの黒淵

観な「牛ヶ滝」、展望台からの眺めがすばらしい「霧ヶ滝」などは、特に人気の高いスポットとなっています。

また、林道ゲートから十五分ほど歩いた所では、カエデの仲間の「ハナノキ」の大木も見ることが出来ます。「ハナノキ」は、長野県、岐阜県、愛知県の限られた地域のみで生育し、絶滅危惧種に指定されており、南木曾支署管内の国有林でも、大きな木は二本しか残っていません。

木曾にお越しの際には、少し寄り道されて、リフレッシュされてはいかがでしょうか。



巨大な花崗岩が壮観な牛ヶ滝



展望台からながめるエメラルド色の淵、眺めのすばらしい霧ヶ滝

アクセス

公共交通機関を利用した場合

J R 中央西線十二兼駅下車 徒歩50分

J R 中央西線南木曾駅下車 タクシー10分

自動車を利用した場合

中央自動車道中津川 I. C. より塩尻方面へ40分

長野自動車道塩尻 I. C. より中津川方面へ1時間30分